

平成 23 年 1 月 7 日

各位

厚生労働科学研究費補助金

(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)

「望まない妊娠防止に関する総合的研究」班

分担研究者 北村邦夫（社団法人日本家族計画協会家族計画研究センター所長）

「第 5 回男女の生活と意識に関する調査」結果報告会について

冠省 平成 22 年度厚生労働科学研究班の一環として実施いたしました、「第 5 回男女の生活と意識に関する調査」の結果がまとまりましたのでご報告いたします。

本調査は、個人のプライバシーに十分留意しつつ、層化二段無作為抽出法という調査手法を用い、平成 22 年 9 月 1 日現在満 16～49 歳の国民男女個人 3,000 人を対象として行われたものです。住民基本台帳閲覧の許可を受けた上で、150 地点から 20 名余の対象者を抽出。平成 22 年 9 月 11 日（土）～9 月 28 日（火）に、調査員による訪問・留置・回収という形で調査が行われました。その結果、長期不在、転居、住居不明によって調査票を手渡すことができなかったものを除く 2,693 人のうち有効回答数は 1,540 人（男性 671 名、女性 869 名）、回収率は 57.2%となっております。その内容は、(1)日常生活や考え方について、(2)性の意識や知識について、(3)対象者自身の性行動について、(4)初めてのセックス（性交渉）について、(5)現在の避妊の状況について、(6)予期しない妊娠の防止について、(7)子宮頸がん予防ワクチンについて、(8)人工妊娠中絶について、(9)虐待された経験など、わが国における性や避妊、妊娠、中絶などに関する男女の意識や行動を中心とした様々な側面からの調査となっております。

調査を担当した側といたしましては、できれば、おひとりおひとりに丁寧にご説明させていただきたいと考えておりましたが、時間的に困難ですので、それならば別紙の通り報告会を開催してしまおうとなったわけです。公私ともにご多忙の折であることは重々承知しておりますが、是非ともご出席いただき、調査結果について共有できますれば幸いです。

早々

厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）
「望まない妊娠防止に関する総合的研究」班

「第5回男女の生活と意識に関する調査」

結果報告会

分担研究者 北村邦夫（（社）日本家族計画協会家族計画研究センター所長）

日 時 平成23年1月12日（水曜日） 午後3時から

場 所 保健会館新館地下1階会議室

〒162-0843 新宿区市谷田町1-10 保健会館新館

TEL 03-3235-2694 FAX 03-3269-6294

（JR市ヶ谷駅から徒歩3分。有楽町線、南北線の場合、6、7番出口の間のエレベーターで地上に上がると保健会館新館正面に出ます）

報告会次第

1. 調査結果の報告
2. 質疑応答

当日は、報告書概要版（コピー）と powerpoint 作成資料をご用意させていただきます。

会場の関係から、先着50名までとさせていただきます。ご容赦下さい。その準備の都合上、ご出席の有無を1月11日までにお寄せ頂きますれば幸いです。

送付 FAX 番号 03-3269-6294

((社) 日本家族計画協会クリニック 杉村／北村 宛)

FAX 回答

平成 23 年 1 月 12 日 (水) 午後 3 時から、東京都新宿区
市谷田町 1-10、保健会館新館地下 1 階会議室で開催される
「第 5 回男女の生活と意識に関する調査結果報告会」に、

出席する

欠席する

氏名	
所属	

「第5回男女の生活と意識に関する調査」結果（速報）

調査は、国民男女の生活と意識について知る目的で行われました

望まない妊娠を防止するには様々な要因が考えられることから、「第5回男女の生活と意識に関する調査」ではわが国における新たな取り組みの方向性を探る目的で本研究を実施しております。

質問の内容を以下に列挙しました。

- (1) 日常生活や考え方について
- (2) 性の意識や知識について
- (3) 対象者自身の性行動について
- (4) 初めてのセックス（性交渉）について
- (5) 現在の避妊の状況について
- (6) 低用量ピルについて
- (7) 子宮頸がん予防ワクチンについて
- (8) 人工妊娠中絶について

調査は、層化二段無作為抽出法という方法で行われました

「第5回男女の生活と意識に関する調査」を行うにあたっては、個人のプライバシーに十分留意しつつ、層化二段無作為抽出法という調査手法を用い、平成22年9月1日現在満16～49歳の男女個人3,000人を対象として行われました。調査は平成22年9月11日（土）～9月28日（火）に実施。その結果、長期不在、転居、住居不明によって調査票を手渡すことができなかったものを除く2,693人のうち有効回答数は1,540人（男性671名、女性869名）、57.2%でした。回答者の平均年齢は男性33.8歳、女性34.5歳。

層化二段無作為抽出法とは、まず、①全国の市区町村を都道府県を単位として11地区に分類し、さらに、②各地区においては、都市規模によって大都市、人口10万人以上の都市、人口10万人未満の都市、町村いう4層に層化しています。その上で、区・都市規模別各層における推計母集団数の大きさにより、それぞれ3,000の標本数を比例配分し、各調査地点の標本数が13～23になるように調査地点数を決めていきます。次に、抽出の1段階目として、各層内で国勢調査区より割り当てられた地点数を無作為に抽出し、2段階目として各地点を管轄する自治体の役場で住民基本台帳から対象者個人を抽出しました。調査は、平成22年9月11日（日）から9月28日（火）の期間、抽出された対象者宅に調査員が訪問し、調査票を手渡し、その後回収に伺うという方法（調査員による訪問留訪問回収法）がとられました。

回答者の性別と年齢分布

	総数	16～	20～	25～	30～	35～	40～	45～
		19歳	24歳	29歳	34歳	39歳	44歳	49歳
総数	1,540	126	165	218	221	295	249	266
	100.0	8.2	10.7	14.2	14.4	19.2	16.2	17.3
男性	671	61	65	107	103	133	98	104
	100.0	9.1	9.7	15.9	15.4	19.8	14.6	15.5
女性	869	65	100	111	118	162	151	162
	100.0	7.5	11.5	12.8	13.6	18.6	17.4	18.6

回答者の年齢 総数34.2歳 男性33.8歳 女性34.5歳

以下、今回の調査で、興味ある結果を得た、いくつかの話題に絞ってご紹介しましょう。

性に関わる情報は中学卒業までに知っておきたい

性に関する事柄を16項目あげ、それぞれについて一般的には何歳くらいの時に知るべきだと思うかを聞いてみました。国民の大半はこれら16項目については15歳まで、すなわち義務教育終了までには知るべきと考えています。特に、「コンドームの使い方」を中学3年生に教えることは不適切であると烙印を押されかねませんが、15歳までに知るべきと回答した国民の割合は、第1回目(02年)62.8%、第2回目(04年)61.8%、第3回目(06年)68.7%、第4回(08年)68.5%、第5回(10年)67.2%と6割を超えています。

性に関する以下の事柄について、15歳までに知るべきと思う割合(%)

(北村邦夫：「男女の生活と意識に関する調査」2002、2004、2006、2008、2010)

	2010年	2008年	2006年	2004年	2002年
男女の心と身体の違い	92.6	93.7	92.7	88.7	90.3
二次性徴、月経、射精などの仕組み	93.0	95.0	94.1	89.6	90.8
受精、妊娠、出産、誕生のしくみ	89.8	91.9	90.6	84.9	86.7
セックス(性交渉)	73.4	74.9	73.2	65.7	0.0
避妊法	76.3	77.2	76.5	70.1	75.0
人工妊娠中絶	65.1	68.0	66.9	61.4	66.8
エイズとその予防	77.1	77.0	78.1	71.8	75.1
エイズ以外の性感染症とその予防	74.2	74.7	73.5	68.8	72.3
コンドームの使い方	67.2	68.5	68.7	61.8	62.8
多様な性のあり方	59.4	57.5	55.7	50.8	50.6
性的被害の対処法	66.2	67.7	66.1	60.4	61.0
男女間の平等や助け合い	80.4	80.0	81.5	75.4	73.1
結婚	59.5	58.6	57.5	46.6	49.9
離婚	56.1	53.7	52.7	41.7	45.7
人と人とのコミュニケーション	86.4	85.9	84.7	80.2	76.0
性に関する倫理や道徳	76.8	78.1	76.2	72.1	70.9

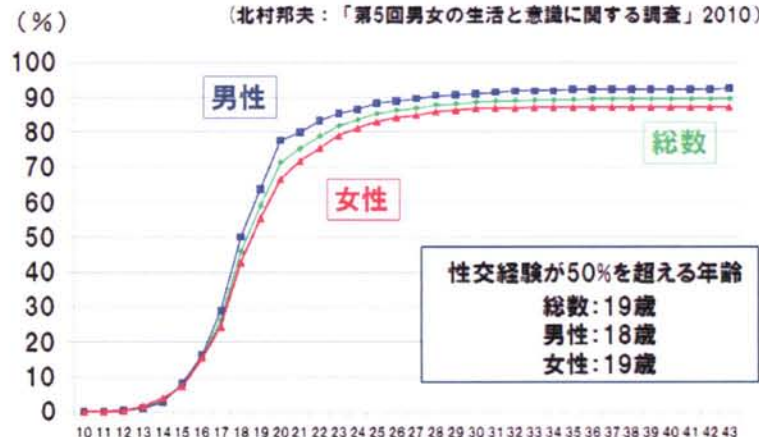
異性間での累積性交経験率に男女差なし

「あなたが、最初に異性とセックス(性交渉)したのは何歳の時ですか」の問いに対して、男女1,301人(男性565人、女性736人)の結果が得られています。性交経験者での平均年齢は19.0歳(男性18.9歳、女性19.1歳)

となっています。無回答を除く累積性交経験率を過去の調査と比較しますと、15歳時点での経験率は、現在16~19歳の女性は1.6%、男性は6.6%であり、他の年齢層に比べて低いことがわかります。性交開始が低年齢化、加速化しているという印象は受けません。これを年齢別に分布をみますと、男女差がほとんどないことも特徴となっています。

年齢別累積性交経験率(経験無回答者を除く)

(北村邦夫：「第5回男女の生活と意識に関する調査」2010)



性交経験が50%を超える年齢
 総数：19歳
 男性：18歳
 女性：19歳

セックスレス化がさらに進行。婚姻関係にある人では40.8%

日本性科学会は1994年にセックスレスについて、「特殊な事情が認められないにもかかわらずカップルの合意した性交あるいはセクシュアル・コンタクト（ペッティング、オーラルセックス、裸での同衾など）が1ヶ月以上なく、その後も長期にわたることが予想される場合」と定義しています。

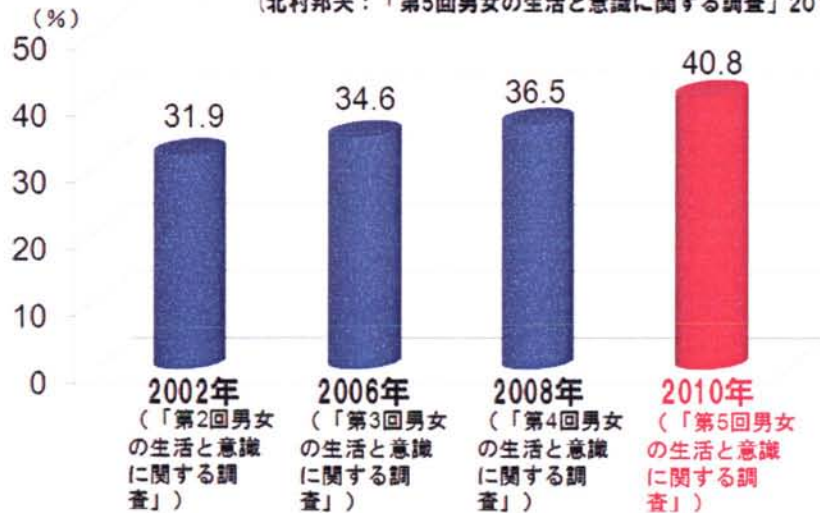
本調査では、これまでにセックスをしたことがある者（1,301人）に、この1ヶ月間のセックス回数を聞いたところ、「1回」15.1%、「2回」11.1%、「3回」8.2%、「4回」6.9%、「5回以上」8.7%となっています。一方、「この1ヶ月間は、セックス（性交渉）をしなかった」は45.3%という結果でした。

婚姻関係にある回答者（初婚・再婚）でも40.8%が該当しており、年齢階級別には婚姻関係にある40歳以上では5割近くとさらに高率となっています。

2001年に朝日新聞社がインターネットで調査した「夫婦1000人に聞く」でのセックスレス割合は28.0%、「男女の生活と意識に関する調査」2004年、2006年、2008年がそれぞれ31.9%、34.6%、36.5%ということから婚姻関係にあるカップルのセックスレス化が一段と進行していることが窺えます。

婚姻関係にあるカップルで進むセックスレス化

（北村邦夫：「第5回男女の生活と意識に関する調査」2010）



婚姻関係にある人がセックスに対して積極的になれない理由を尋ねると、「出産後何となく」が第一位で20.9%（男性18.9%、女性22.1%）、次いで「面倒くさい」20.9%（男性10.7%、女性26.9%）、「仕事で疲れている」16.1%（男性19.7%、女性13.9%）などとなっています。

婚姻関係にある人がセックスに対して積極的になれない理由

（北村邦夫：「第5回男女の生活と意識に関する調査」2010）

	総数	男性	女性
n=	330	122	208
出産後何となく	20.9	18.9	22.1
面倒くさい	20.9	10.7	26.9
仕事で疲れている	16.1	19.7	13.9
セックスより楽しいことがある	5.8	4.9	6.3
家族(肉親)のように思えるから	4.2	3.3	4.8
相手がいない	3.3	8.2	0.5
相手の一方的なセックスに不満ある	1.8	2.5	1.4
妊娠することへの不安が強い	1.8	2.5	1.4
勃起障害に対する不安がある	1.8	3.3	1.0
家が狭い	1.2	2.5	0.5
セックスに際して痛みがある	0.9	0.0	1.4
その他	19.4	22.1	17.8
無回答	1.8	1.6	1.9

若年男性の「草食化」は事実か？

2010年は男性の草食化が話題になりましたが、2008年と2010年とを比較すると、それを裏付ける結果となっています。

セックス（性交渉）をすることに、関心がないと嫌悪しているを加えた割合をみると、男性だけでなく女性でも、その割合が高いことがわかります。

セックス（性交渉）をすることに、「関心がない+嫌悪している」割合の推移（％）

（北村邦夫：「男女の生活と意識に関する調査」2008、2010）

	2008年	2010年
男性 16～19歳	17.5	36.1
20～24歳	11.8	21.5
25～29歳	8.3	12.1
30～34歳	8.2	5.8
35～39歳	9.2	17.3
40～44歳	13.1	18.4
45～49歳	8.7	22.1
女性 16～19歳	46.9	58.5
20～24歳	25.0	35.0
25～29歳	25.0	30.6
30～34歳	30.4	45.8
35～39歳	35.7	50.0
40～44歳	47.5	55.6
45～49歳	45.4	58.6

わが国の女性の人工妊娠中絶経験者は15.5％、そのうち反復中絶者は35.6％。

これまでに人工妊娠中絶の手術を受けたことが「ある」という女性は15.5％。女性だけに絞り込むと、本調査からは16～19歳では人工妊娠中絶の手術の経験者はなく、20～24歳で7.0％、25～29歳で14.4％、30～34歳（14.3％）、35～39歳（16.0％）、40～44歳（21.2％）、45歳以上（22.8％）と回答しています。さらに、中絶のリピーターは女性の35.6％と高率となっています。

また、過去1年間に人工妊娠中絶手術を受けたことがある女性は全体で1.3％となっていました。

これまでに人工妊娠中絶手術を受けたことがある女性（135人）に、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決めた理由を尋ねたところ、「相手と結婚していないので、産めない」（27.4％）という者が最も多く、次いで「経済的な余裕がない」（13.3％）、「相手との将来を描けないから」（11.9％）、「自分の仕事・学業を中断したくない」（7.4％）と続いています。5歳階級別にみると、「相手と結婚していないので産めない」がもっとも多かったのが45～49歳で32.4％、次いで35～39歳の30.8％。「経済的な余裕がない」は30～34歳29.4％、20～24歳28.6％と高率でした。

最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決めた理由（女性）％

北村邦夫：「第5回男女の生活と意識に関する調査」、2010）

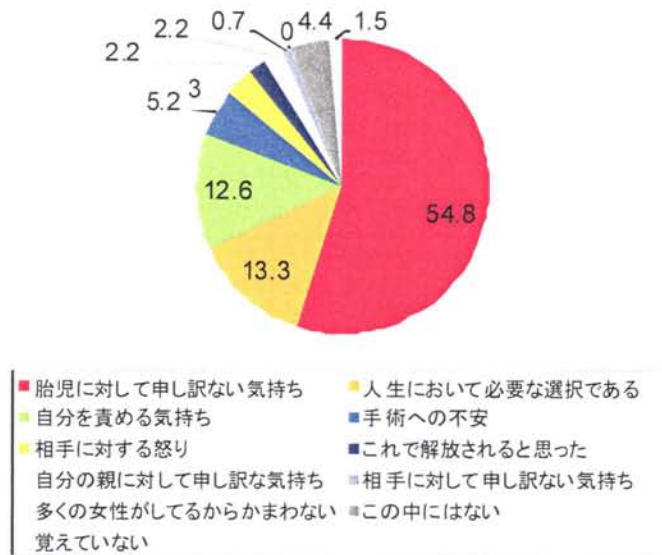
	該当数	16～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
		135	-	7	16	17	26	32
相手と結婚していないので産めない	27.4	-	14.3	18.8	29.4	30.8	25.0	32.4
経済的な余裕がない	13.3	-	28.6	18.8	29.4	7.7	12.5	5.4
相手との将来を描けないから	11.9	-	14.3	12.5	23.5	7.7	9.4	10.8
自分の仕事・学業を中断したくない	7.4	-	14.3	12.5	5.9	7.7	9.4	2.7
身体が妊娠・出産に耐えられない	5.9	-	-	-	-	3.8	12.5	8.1
これ以上、子どもは欲しくない	4.4	-	-	6.3	-	11.5	-	5.4
育児していく自信がない	3.0	-	-	12.5	5.9	-	-	2.7
相手が特定できないから	0.7	-	-	-	-	-	-	2.7
相手のことが好きではないから	-	-	-	-	-	-	-	-
この中にはない	25.9	-	28.6	18.8	5.9	30.8	31.3	29.7

最初の人工妊娠中絶を受けることを決めたときの気持ち：「胎児に対して申し訳ない気持ち」「自分を責める気持ち」が大半。

これまでに人工妊娠中絶手術を受けたことがある女性（135人）に、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決めたときの気持ちを聞いたところ、「胎児に対して申し訳ない気持ち」が54.8%で最も多く、次いで「自分の人生において必要な選択である」13.3%、「自分を責める気持ち」（12.6%）などの順になっています。男性については、「胎児に対して申し訳ない気持ち」が31.0%と最も多いとはいえ、女性の方が約13.8ポイント近く多くなっています。

最初の人工妊娠中絶を受けた時の気持ち（女性）

（北村邦夫：「第5回男女の生活と意識に関する調査」、2010）



人工妊娠中絶を繰り返す女性は、「婚姻関係にある」「子どもがいる」は言うまでもありませんが、生活習慣なども深く関与

人工妊娠中絶を繰り返す女性の特徴を、各設問とのクロス集計から探ってみました。統計的に有意な差が認められるものを以下列挙します。数値は%で、順に「中絶経験なし」「中絶経験1回のみ」「反復中絶経験あり」

1. 「中学生の頃の家庭」 楽しくなかった (23.4%, 34.9%, 40.4%)
2. 「両親の離婚経験」 はい (12.7%, 14.0%, 25.5%)
3. 「自傷行為（リストカットなど）の経験」 ある (4.8%, 14.9%, 29.8%)
4. 「中学生がセックスすることについての考え」 学校の授業 (42.0%, 34.5%, 25.0%)
5. 「低用量経口避妊薬（ピル）の認知度」 よく知っている (10.7%, 23.0%, 31.3%)
6. 「初めての異性とのセックス」 重大だと感じていた (75.8%, 69.8%, 54.2%)
7. 「初めてセックスした相手との知り合い方」 町で声をかけられたりして知り合った (2.4%, 6.9%, 16.7%)
8. 「初めてのセックスの時に避妊したか」 避妊しなかった (18.7%, 23.0%, 37.5%)
9. 「人工妊娠中絶についての考え方」 認める (70.2%, 80.4%, 85.4%)
10. 「結婚したい気持ちがあるか」 いいえ (22.4%, 30.4%, 77.8%)
11. 「子どもの有無」 いる (52.5%, 87.2%, 89.6%)
12. 「学歴」 大学卒業・大学院卒業 (19.6%, 10.6%, 6.3%)
13. 「喫煙習慣」 習慣的に吸っている (13.0%, 26.7%, 54.2%)
14. 「一週間の飲酒量」 一合以上 (18.8%, 25.9%, 41.7%)
15. 「婚姻関係」 ある (52.9%, 72.4%, 81.3%)

この一年間の避妊、「いつも避妊している」「避妊したり、しなかったりしている」は56.9%。避妊法は85.5%がコンドーム、低用量ピルは3.4%。

これまでにセックス（性交渉）をしたことのある男女（1,301人）に、この1年間の避妊の状況を聞いたところ、「いつも避妊している」と答えたのは37.8%、「避妊をしたり、しなかったりしている」者は19.1%、「避妊はしない」という者は17.8%でした。このうち、「いつも避妊している」と「避妊したり、しなかったりしている」と回答した者（740人）に、主な避妊方法を聞くと、男性用コンドーム（85.5%）、膈外射精（性交中絶）15.9%、「経口避妊薬（ピル・飲む避妊薬）」3.4%、「オギノ式」（3.2%）、「基礎体温法」（1.4%）、「不妊手術（女性）」1.2%、「子宮内避妊具（IUD/IUS）」0.9%などの順でした。

毎日新聞社人口問題調査会が行ってきた「全国家族計画世論調査」は既婚女性を対象としていますので、本調査も既婚（初婚・既婚）女性に限ってまとめました（以下表）。

わが国既婚女性の避妊法の選択（1952年～2010年）

	現在実行している人を対象に											現在と前に実行している人を対象に													
	本研究		25回		24回		23回		22回		21回		20回		19回		15回		10回		5回		1回		
	2010	2008	2006	2004	2002	2000	1998	1996	1994	1992	1990	1988	1986	1984	1982	1980	1978	1976	1974	1972	1970	1968	1966	1964	
男性用コンドーム	79.7	79.6	78.5	67.1	70.7	75.3	77.8	77.2	77.7	75.3	73.9	76.8	81.1	68.1	58.3	35.6									
女性用コンドーム	-	0.1	0.1	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性交中絶／膈外射精	17.2	16.7	17.8	17.3	17.5	26.6	7.1	9.6	7.1	7.6	6.5	1.9	5.2	6.9	11.5	12.7									
オギノ式定期禁欲法	1.3	3.6	3.3	3.0	3.6	6.5	8.4	8.1	7.1	9.2	7.3	6.6	23.1	33.9	10.1	27.1									
女性不妊手術	2.7	2.9	2.2	2.7	3.9	5.3	4.6	5.3	5.8	5.0	7.1	5.8	2.9	0.0	5.1	0.0									
基礎体温法	2.3	1.5	1.1	1.6	2.5	9.8	8.2	8.9	6.8	7.3	8.0	9.7	0.0	0.0	6.1	0.0									
子宮内避妊具（IUD）	1.6	1.1	1.5	1.6	2.1	2.7	3.1	3.8	3.7	4.9	4.7	5.3	8.3	7.2	0.0	0.0									
洗浄法	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.1	0.5	0.5	0.9	1.2	0.6	1.6	1.0	2.1	1.9									
ピル	2.3	2.2	1.1	1.1	0.7	1.5	1.1	1.3	0.6	1.3	1.0	1.7	3.2	1.7	0.0	0.0									
男性不妊手術	0.8	1.1	0.1	0.3	0.1	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	2.1	1.6	1.1	0.0	0.9	0.0									
避妊薬（錠剤／ゼリー／フィルム）	0.1	0.1	0.1	0.3	0.0	0.5	0.8	0.5	0.8	1.2	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0									
ベッサリー	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.3	0.0	1.1	1.3	7.1	7.8									
ゼリー、フィルム	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	6.1	13.3	15.1									
錠剤	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	7.8	7.2	11.2									
スポンジ	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	1.5	0.0									
無回答	-	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	2.6	2.6	3.1	2.2	2.5	2.7	1.2	3.8	1.2	10.7									
その他（無回答）	3.1	2.5	3	11.0	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	3.8	1.1	1.3									
不妊手術	*3.5	*1.0	*2.6	*3.0	*1.3	*6.1	*5.8	*6.5	*7.0	*6.2	*9.8	*7.1	*1.0	5.1	0.0	0.0									

（*は再掲。1回から25回までは毎日新聞社人口問題調査会「全国家族計画世論調査」、2002・04・06・08年・10年のデータは『男女の生活と意識に関する調査』結果）

緊急避妊法の認知度一段と高まる

「あなたは、『緊急避妊法』『モーニングアフターピル』『性交後避妊』のいずれかの言葉を聞いたことがありますか」の問いに対して、30.0%（男性23.1%、女性35.3%）が「聞いたことがある」と回答しています。『ノルレボ錠』という緊急避妊ピルについては、12月24日に薬事分科会で承認されたばかりであり、従来から日本には公に認められた方法がなかったにもかかわらず、この認知度の高さに驚かされます。しかも、年々上昇している様子が見えられます。「聞いたことがある」女性のうち6.5%が利用したことがあると回答しており、その数を試算すると60万人を超えています。

モーニングアフターピル、性交後避妊、緊急避妊法の言葉聞いたことあるか

	第5回(2010年)		第4回(2008年)		第3回(2006年)		第2回(2004年)	
	総数	女性	総数	女性	総数	女性	総数	女性
総数(件)	1,540	869	1,468	821	1,409	773	1,580	890
聞いたことがある(%)	30.0	35.3	28.5	30.2	24.3	27.3	20.8	23.7
聞いたことがない(%)	68.2	75.6	62.5	65.9	72.2	69.0	75.8	73.4
無回答・無回答(%)	1.8	1.3	2.2	4.3	3.9	3.1	3.8	4.1

（北村邦夫：厚生労働科学研究「男女の生活と意識に関する調査2004,2006,2008,2010」から）

子宮頸がん予防ワクチン、女性の71.3%が接種したい

2009年12月から接種が始まった子宮頸がん予防ワクチン。国民の関心が極めて高いことがわかります。

「あなたは子宮頸がんを予防するワクチンについて知っているか」の問いに、62.7%（男性42.5%、女性78.4%）が「知っている」と回答し、「接種したい」あるいは「接種して欲しい」は71.6%（男性72.0%、女性71.3%）と極めて高率でした。

あなたは「子宮頸がんを予防するワクチン」を接種したいか（男性の場合、あなたの相手に接種して欲しいか）

（北村邦夫：「第5回男女の生活と意識に関する調査」2010）

	総数	非常に接種したい	まあ接種したい	どちらでもない	あまり接種したくない	まったく接種したくない	無回答	(再掲)接種したい	(再掲)接種したくない
	1,540	36.1	35.5	19.5	4.2	2.0	2.7	71.6	6.2
男性	671	38.7	33.2	19.8	3.4	1.9	2.8	72.0	5.4
16～19歳	61	29.5	39.3	19.7	4.9	4.9	1.6	68.9	9.8
20～24歳	65	26.2	38.5	24.6	4.6	4.6	1.5	64.6	9.2
25～29歳	107	45.8	34.6	14.0	3.7	0.9	0.9	80.4	4.7
30～34歳	103	37.9	28.2	20.4	5.8	2.9	4.9	66.0	8.7
35～39歳	133	45.9	28.6	18.8	1.5	0.8	4.5	74.4	2.3
40～44歳	98	31.6	40.8	23.5	3.1	1.0	-	72.4	4.1
45～49歳	104	43.3	28.8	20.2	1.9	1.0	4.8	72.1	2.9
女性	869	34.1	37.3	19.3	4.7	2.1	2.5	71.3	6.8
16～19歳	65	26.2	44.6	16.9	7.7	1.5	3.1	70.8	9.2
20～24歳	100	33.0	41.0	15.0	5.0	3.0	3.0	74.0	8.0
25～29歳	111	42.3	35.1	18.0	1.8	1.8	0.9	77.5	3.6
30～34歳	118	42.4	40.7	12.7	2.5	0.8	0.8	83.1	3.4
35～39歳	162	35.2	35.8	21.6	1.9	1.9	3.7	71.0	3.7
40～44歳	151	30.5	35.1	21.2	7.3	2.6	3.3	65.6	9.9
45～49歳	162	28.4	34.6	24.7	7.4	2.5	2.5	63.0	9.9

「18歳くらいの頃までに、両親や同居していた方から虐待を受けたことがある」が全体の5.0%（男性2.2%、女性7.1%）

「18歳くらいの頃までに、両親や同居していた方から虐待を受けたことがある」と回答した方が全体の5.0%（男性2.2%、女性7.1%）に上ることが明らかにされました。「ある」と回答した方に、その内容を尋ねますと、

「心理的な虐待（子どもの心を傷つけるようなことを繰り返すなど）」が最も多く66.2%（男性53.3%、女性69.4%）、次いで「身体的な虐待（殴る、蹴る、熱湯をかける、たばこの火を押しつけるなど）54.5%（男性80.0%、女性48.4%）、「養育の放棄（ネグレクト、食事を与えない、長時間放置するなど）15.6%（男性13.3%、女性16.1%）、「性的な虐待（性的な行為の強要、性器や性交を見せるなど）11.7%（男性0%、女性14.5%）」となっています。

本調査結果に対するお問い合わせ先は、（社）日本家族計画協会家族計画研究センターの杉村由香理(sugimura@jfpa.or.jp)あるいは北村邦夫(kitamura@jfpa.or.jp)
電話 03-3235-2694、fax 03-3269-6294

第5回 男女の生活と意識に関する調査

- この調査票に回答された内容については、統計として取りまとめるだけで、皆様の個人的な内容が明らかにされることはいっさいありません。お答えになりにくい質問もあるかと思いますが、純粋に医学的見地からの質問となっておりますので、どうぞよろしく願いいたします。
- どうしても、答えにくい質問があれば、その部分は無回答でも結構です。次の質問に進んでください。

〔ご記入に際してのお願い〕

- 1) この調査は、調査をお願いしたご本人様にご回答をお願いいたします。
- 2) お答えは、あてはまる番号を○印で囲んでいただくか、数字をご記入ください。
- 3) お答えは原則的に1つの質問につき1つ選んでいただきます。ただし質問によっては、2つ以上の回答を選んでいただく場合もあります。質問文末に（○は2つまで）など、選んでいただく回答の数が示してありますので、これに従ってください。
- 4) ご記入は、質問の番号や矢印（→）の指示にそってお願いします。一部の方だけにお答えいただく質問もありますので、その場合は、【 】内の指示に従ってお答えください。
- 5) ご記入は鉛筆または黒・青のペン、ボールペンでお願いします。なお、記入上おわかりにならない点などがありましたら、お伺いした調査員にお尋ねいただくか、調査の実施機関である下記の（社）新情報センターにお問い合わせください。

〔回収日時〕

9 月 日 時頃に回収にお伺いします。それまでにご記入いただき、回収用封筒に密封してお渡しいたしますよう、お願い申し上げます。

平成22年9月

厚生労働科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 「望まない妊娠防止対策に関する総合的研究」

主任研究者 順天堂大学医学部産科婦人科学講座教授 竹田 省
分担研究者 （社）日本家族計画協会

家族計画研究センター所長 北村 邦夫

【調査実施機関】 社団法人 新情報センター

東京都渋谷区恵比寿1-13-6

（お問い合わせ） 月～金（祝日除く）9～17時（昼休み除く）

ファクシール 0120-78-5231

担当：阪口、飯田

ホームページアドレス：http://www.sjc.or.jp/

調査員氏名	
-------	--

あなたのこれまでの日常生活や考え方についてお伺いします。

問1 あなたは10歳くらいの頃まで、地域の中で、友だちや他の年代の人たちと関わる機会が多くありましたか。(〇は1つ)

- | | | |
|---|-----------|----------------|
| ⑦ | 1 よく関わった | 3 ほとんど関わりはなかった |
| | 2 時々、関わった | 4 まったく関わりはなかった |

問2 あなたが生活する上で、あなたの行動や考え方について、最も影響を受けたのは何ですか。(〇は1つ)

- | | | |
|---|-----------|---------------------|
| ⑧ | 1 親 | 7 友人・先輩 |
| | 2 祖父母 | 8 マスコミ(新聞、テレビ、雑誌など) |
| | 3 きょうだい | 9 インターネット |
| | 4 それ以外の親族 | 10 宗教 |
| | 5 近隣の人々 | 11 この中にはない |
| | 6 学校 | |

問3 あなたが中学生の頃までのことを、お聞きします。

(1) あなたは中学生の頃、家庭に対してどう感じていましたか。(〇は1つ)

- | | | |
|---|-----------|--------------|
| ⑨ | 1 楽しかった | 3 あまり楽しくなかった |
| | 2 まあ楽しかった | 4 楽しくなかった |

(2) あなたは、普段、親と話をしていましたか。(〇は1つ)

- | | | |
|---|-----------|---------------|
| ⑩ | 1 よく話をした | 3 ほとんど話をしなかった |
| | 2 時々、話をした | 4 まったく話をしなかった |

問4 あなたは両親をどのように思っていますか。母親と父親について、それぞれ最も近いものを選んでください。(〇はそれぞれ1つずつ)

- | | (1) 母親に対して | (2) 父親に対して |
|---|----------------------|------------|
| ⑪ | 産んでくれて、育ててくれて、感謝している | 1 |
| | 嫌い、うっとうしい | 2 |
| ⑫ | 何とも思っていない | 3 |
| | この中にはない | 4 |

問5 あなたは、自分自身の「両親の離婚」を経験したことがありますか。

- | | | |
|---|------|-------|
| ⑬ | 1 はい | 2 いいえ |
|---|------|-------|

問6 あなたは、これまでに自傷行為(自分で自分の体を傷つける、たとえばカミソリで手首に傷をつけるなど)をしたことがありますか。(〇は1つ)

- | | | |
|---|----------|-------------------------|
| ⑭ | 1 何回もある | 3 したことはないが、しようと思ったことはある |
| | 2 1度だけある | 4 したことはない、しようと思ったこともない |

問7 あなたは、18歳くらいの頃までに、両親や同居していた方から虐待を受けたことがありますか。

1 ない	→	問8へお進みください
2 ある		

⑮

【「2 ある」と答えた方にお聞きします。】

問7-1 あなたが受けた虐待は以下のどの項目に当てはまりますか。(○はいくつでも)

1 身体的な虐待 (殴る、蹴る、熱湯をかける、たばこの火を押しつけるなど)
2 性的な虐待 (性的な行為の強要、性器や性交を見せるなど)
3 養育の放棄 (ネグレクト) (食事を与えない、長時間放置するなど)
4 心理的な虐待 (子どもの心を傷つけるようなことをくり返し言うなど)

⑯

問8 性に関する事柄について、あなたは一般的に、何歳くらいの時に知るべきだと思いますか。a～pのそれぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

	3 〜 5 歳	6 〜 9 歳	10 〜 12 歳	13 〜 15 歳	16 〜 18 歳	19 歳 以上	異なる 個人によつて	知る必要はない
a 男女の心と身体の違い	1	2	3	4	5	6	7	8
b 二次性徴(発毛・声変わり・乳房のふくらみ)、月経、 射精などの身体のしくみ	1	2	3	4	5	6	7	8
c 受精、妊娠、出産、誕生のしくみ	1	2	3	4	5	6	7	8
d セックス(性交渉)	1	2	3	4	5	6	7	8
e 避妊法	1	2	3	4	5	6	7	8
f 人工妊娠中絶	1	2	3	4	5	6	7	8
g エイズとその予防	1	2	3	4	5	6	7	8
h エイズ以外の性感染症とその予防	1	2	3	4	5	6	7	8
i コンドームの使い方	1	2	3	4	5	6	7	8
j 多様な性のあり方(同性愛、性的指向、性同一性障害等)	1	2	3	4	5	6	7	8
k 性的被害(レイプや性暴力など)の対処法	1	2	3	4	5	6	7	8
l 男女間の平等や助け合い	1	2	3	4	5	6	7	8
m 結婚	1	2	3	4	5	6	7	8
n 離婚	1	2	3	4	5	6	7	8
o 人と人とのコミュニケーション(関わり方)	1	2	3	4	5	6	7	8
p 性に関する倫理や道徳	1	2	3	4	5	6	7	8

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

あなたの性の意識や知識についてお伺いします。

問9 あなたは、中学生がセックス（性交渉）をすることについてどう思いますか。（〇は1つ）

- ③
- 1 セックス（性交渉）は、妊娠や性感染症について、自分で責任のとれる年齢や立場になってからするべきだ
 - 2 妊娠や病気が学業に与えるその後の影響を考えると、しないほうがよい
 - 3 時代の流れであるので仕方がない
 - 4 セックス（性交渉）をするかしないかは、中学生であっても個人の自由である

問10 現在、あなたはセックス（性交渉）をすることに、関心がありますか。（〇は1つ）

- ④
- 1 とても関心がある
 - 2 ある程度関心がある
 - 3 あまり関心がない
 - 4 まったく関心がない
 - 5 嫌悪している

問11 現在、あなたは実際に異性と関わることを面倒だと感じますか。（〇は1つ）

- ⑤
- 1 とても面倒である
 - 2 少し面倒である
 - 3 あまり面倒ではない
 - 4 まったく面倒ではない
 - 5 異性とかかわることを嫌悪している

問12 以前に、あなたは避妊方法について、主にどこから知りましたか。（〇は1つ）

- ⑥
- 1 教師・学校の授業
 - 2 医師、助産師、保健師などの保健医療者
 - 3 親
 - 4 きょうだい
 - 5 親以外の大人
 - 6 友だち
 - 7 マスコミ（新聞、テレビ、雑誌など）
 - 8 インターネット
 - 9 意識せず、自然に身についた
 - 10 学んだことはない

問13 次の避妊法のうち、あなたが現時点でもっとも適切と判断するのはどれですか。（〇は1つ）

- ⑦
- 1 コンドーム
 - 2 経口避妊薬（ピル：飲む避妊薬）
 - 3 フィルム状避妊薬
 - 4 オギノ式避妊法（月経からの日数計測）
 - 5 基礎体温法（基礎体温をはかる）
 - 6 膣外射精法（精液を外に出すこと）
 - 7 ペッサリー
 - 8 緊急避妊法
 - 9 IUD/IUS（避妊リング）
 - 10 この中にはない

問14 どうすればコンドームの利用が増えると思いますか。（〇は1つ）

- ⑧
- 1 値段を安くする
 - 2 いろいろな場所で入手できる
 - 3 使いやすい商品を開発する
 - 4 コンドームの有効性（性感染症の予防効果など）を周知する
 - 5 その他（具体的に：_____）

問15 あなたは低用量ピル（経口避妊薬）を知っていますか。（〇は1つ）

- ⑨
- 1 よく知っている
 - 2 ある程度知っている
 - 3 あまり知らない
 - 4 まったく知らない

問 16 あなたは、「緊急避妊法」「モーニングアフターピル」「性交後避妊」のいずれかの言葉を聞いたことがありますか。(〇は1つ)

1 聞いたことがある	2 聞いたことがない → 問 18 へお進みください
------------	----------------------------

【問 16 で「1」と答えた方にお聞きします。】

問 17 上記のいずれかの言葉に該当する方法を利用したことがありますか。いくつかの方法を利用したことのある方は、合計の回数をお答えください。(〇は1つ)

1 1回だけある	3 3回以上ある	5 わからない
2 2回ある	4 利用したことはない	

あなた自身の性行動についてお聞きします

問 18 あなたは、これまでに異性とセックス（性交渉）をしたことがありますか。(〇は1つ)

1 ある	2 ない → 9 ページの問 33 へお進みください
------	----------------------------

【問 19～問 21 は、問 18 で「1 ある」と答えた方にお聞きします。】

問 19 この1年間で、何人の異性とセックス（性交渉）をしましたか。(〇は1つ)

1 1人	5 5～9人	9 100人以上
2 2人	6 10～19人	10 この1年間は、セックス
3 3人	7 20～49人	(性交渉)をしなかった
4 4人	8 50～99人	

問 20 現在、あなたには決まった交際相手（配偶者含む）以外に、セックス（性交渉）する関係のある異性がいいますか。(〇は1つ)

1 1人	4 4人	7 そのような人はいない
2 2人	5 5～9人	
3 3人	6 10人以上	

問 21 あなたの、この1ヶ月間の、異性とのセックス（性交渉）の回数はどれくらいですか。(〇は1つ)

1 1回	4 4回	7 20～49回 → 問 23 へお進みください
2 2回	5 5～9回	8 50回以上
3 3回	6 10～19回	9 この1ヶ月間は、セックス（性交渉）をしなかった

【問 21 で「9」と答えた方にお聞きします。】

問 22 セックスに対して積極的になれない理由のうち、もっともあなたの意見に近いものを選んでください。(〇は1つ)

1 相手がいない	7 セックスに際して痛みがある
2 相手の一方的なセックスに不満がある	8 セックスより趣味など楽しいことがある
3 家が狭い	9 妊娠することへの不安が強い
4 家族（肉親）のように思えるから	10 勃起障害（ED）に対する不安がある
5 仕事で疲れている	11 面倒くさい
6 出産後何となく	12 その他（具体的に： _____）

あなたの初めてのセックス（性交渉）について、お聞きします。

問 23 あなたが、最初に異性とセックス（性交渉）をしたのは何歳の時ですか。

歳の時

④⑦ ④⑧

問 24 あなたは、最初の異性とセックス（性交渉）をする前に、「初めてのセックス（初体験）」というものを、どのように考えていましたか。（○は1つ）

- ④⑨
- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 かなり重大なことだと感じていた | 3 やや軽く考えていた |
| 2 やや重大なことだと感じていた | 4 かなり軽く考えていた |

問 25 初めてセックス（性交渉）をした異性の相手（配偶者を含む）とはどのようにして知り合いましたか。（○は1つ）

- ⑤⑩
- 1 もともと幼なじみであり、その人に好意を持つようになった
 - 2 友人や先輩から紹介されて知り合った
 - 3 塾、ゼミ、クラブ、サークル、ボランティア活動などで知り合った
 - 4 職場やアルバイト先で、知り合った
 - 5 携帯電話やパソコンメールを通して、知り合った
 - 6 町で声をかけられたりして知り合った
 - 7 お見合いによって知り合った
 - 8 この中にはない

問 26 異性と初めてのセックス（性交渉）をするきっかけは、どのようなことでしたか。もっとも当てはまるものを選んでください。（○は1つ）

- ⑤⑪
- | | |
|------------------|--------------|
| 1 愛していたから | 6 友人に遅れたくなくて |
| 2 遊びや好奇心から | 7 お金が欲しくて |
| 3 酒を飲んだ勢いで | 8 ただなんとなく |
| 4 相手をつなぎ止めておきたくて | 9 さびしくて |
| 5 無理やり迫られて | 10 この中にはない |

問 27 あなたは、異性と初めてセックス（性交渉）した後どんな気持ちでしたか。もっとも当てはまるものを選んでください。（○は1つ）

- ⑤⑫
- | | |
|----------------|----------------|
| 1 うれしかった | 4 期待はずれで少し落胆した |
| 2 肩の荷がおりの感じがした | 5 むなしかった、後悔した |
| 3 何とも感じなかった | 6 この中にはない |

問 28 異性と初めてセックス（性交渉）した相手と、出会ってからセックス（性交渉）するまで、どのくらいの間、交際していましたか。（○は1つ）

- ⑤⑬
- | | |
|---------------|---------|
| 1 1日（出会ったその日） | 5 6か月未満 |
| 2 1週間未満 | 6 1年未満 |
| 3 1か月未満 | 7 3年未満 |
| 4 3か月未満 | 8 3年以上 |

問 29 異性と初めてのセックス（性交渉）の時に、避妊をしましたか。（○は1つ）

<input type="checkbox"/> 1 避妊した	
<input type="checkbox"/> 2 避妊しなかった	→ 問 29-2 へ
<input type="checkbox"/> 3 わからない（忘れた）	→ 問 30 へ

54

【問 29 で「1 避妊した」と答えた方にお聞きします。】

問 29-1 そのときに使った避妊法は以下のうちどれでしたか。（○は1つ）

1 コンドーム	5 膈外射精法（精液を外に出すこと）
2 経口避妊薬（ピル：飲む避妊薬）	6 洗浄法
3 オギノ式避妊法（月経からの日数計測）	7 この中にはない
4 基礎体温法（基礎体温をはかる）	

55

【問 29 で「2 避妊しなかった」と答えた方にお聞きします。】

問 29-2 なぜ避妊しなかったのですか。（○は1つ）

1 避妊についてよく知らなかった	6 子どもが欲しかった
2 自分の方から避妊を言い出せなかった	7 妊娠しないと思った
3 「避妊しよう」と言ったが相手に断られた	8 面倒だった
4 避妊具がなかった	9 完璧な避妊はないと思ったから
5 子どもができてかまわなかった	10 その他（具体的に

56

現在のあなたの避妊の状況について、お聞きします。

問 30 あなたは避妊することや、その方法について、セックスする相手とよく相談して決めていますか。

（○は1つ）

1 よく相談している	3 まったく相談していない
2 あまり相談していない	

57

問 31 この1年間で、あなたは避妊していますか。（既に、子宮内避妊具を使用している方や不妊手術を受けている方は、「1 いつも避妊している」を選んでください。）（○は1つ）

<input type="checkbox"/> 1 いつも避妊している	→ 次ページの問 32 へお進みください
<input type="checkbox"/> 2 避妊をしたり、しなかったりしている	
<input type="checkbox"/> 3 避妊はしない	
<input type="checkbox"/> 4 セックス（性交渉）をしていない	→ 9 ページの問 33 へお進みください

58

【問 31 で「2」または「3」と答えた方にお聞きします。】

問 31-1 避妊をせずに異性と性交渉を行った場合、妊娠する場合があります。あなたは「もしかしたら妊娠するかもしれない」と心配することがありますか。（○は1つ）

1 とても心配することがある	3 あまり心配することはない
2 すこし心配することがある	4 まったく心配することはない

59

問 31-2 あなたが、異性とのセックスで避妊をしていないことがあるのはなぜですか。もっとも大きな理由を1つお答えください。(○は1つ)

- ⑥0
- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1 避妊についてよく知らない | 6 子どもが欲しい |
| 2 自分の方から避妊を言い出せない | 7 妊娠しないと思う |
| 3 「避妊しよう」と言ったが相手に断られる | 8 面倒だ |
| 4 避妊具がない | 9 完璧な避妊はないから |
| 5 子どもができてかまわない | 10 その他(具体的に) |

【問 31 で「1 いつも避妊している」または「2 避妊をしたり、しなかったりしている」と答えた方にお聞きします。問 31 で「3 避妊はしない」と答えた方は問 33 にお進みください。】

問 32 あなたの、現在の主な避妊方法はどれですか。(○は2つまで)

- ⑥1
- | | | |
|----------------|-----------------------|------------------------------|
| 1 コンドーム | 2 オギノ式避妊法(月経からの日数計測) | 「1」に○がない方は、
問 33 へお進みください |
| | 3 基礎体温法(基礎体温をはかる) | |
| | 4 膣外射精法(精液を外に出すこと) | |
| | 5 洗浄法 | |
| | 6 殺精子剤(錠剤、ゼリー、フィルム) | |
| | 7 子宮内避妊具(IUD/IUS、リング) | |
| | 8 経口避妊薬(ピル:飲む避妊薬) | |
| | 9 不妊手術(男性) | |
| | 10 不妊手術(女性) | |

【問 32-1 から問 32-3 の質問は、問 32 で「1 コンドーム」と答えた方にお聞きします。】

問 32-1 あなたは、決まった交際相手(配偶者含む)とのセックス(性交渉)では、コンドームを毎回使用していますか。(○は1つ)

- ⑥2
- | | |
|------------|-----------------------|
| 1 必ず使用している | 3 ほとんど使用していない |
| 2 時々使用している | 4 配偶者あるいは決まった交際相手はいない |

問 32-2 あなたは、決まった交際相手(配偶者を含む)以外とのセックス(性交渉)では、コンドームを毎回使用していますか。(○は1つ)

- ⑥3
- | |
|------------------------------------|
| 1 必ず使用している |
| 2 時々使用している |
| 3 ほとんど使用していない |
| 4 決まった交際相手(配偶者を含む)以外とのセックス(性交渉)はない |

問 32-3 コンドームを使っている最も大きな理由は何ですか。(○は1つ)

- ⑥4
- | | |
|---------------------|---------------|
| 1 性感染症予防のため | 6 どこでも手に入りやすい |
| 2 確実な避妊方法だと思う | 7 安心できるから |
| 3 相手が使っている | 8 よく使われているから |
| 4 コンドーム以外の避妊方法を知らない | 9 なんとなく |
| 5 値段が安い | 10 この中にはない |

低用量ピル についてお聞きします。

問 33 低用量ピル（経口避妊薬）は、ホルモン含有量を抑えた、女性が飲む錠剤の避妊薬ですが、あなた自身は低用量ピルを使いたい、または相手に使ってほしいと思いますか。（○は1つ）

- 1 すでに使っている
- 2 現在は使っていないが、ぜひ使いたい（使ってほしい）

- 3 将来は使いたい（使ってほしい）が、今の状況では使えない
- 4 使いたくない（使ってほしくない）

65

【問 33 で「1」または「2」と答えた方に、お聞きします。】

問 33-1 低用量ピルを「使っている」または「ぜひ使いたい」と思う最も大きな理由は何ですか。（○は1つ）

- 1 避妊効果が高い
- 2 手軽に使える
- 3 低用量だから副作用が少ない
- 4 女性自身の意思で使うことが出来る
- 5 セックス（性交渉）の際に避妊を意識しないですむ
- 6 人工妊娠中絶をしないですむ
- 7 多くの国で使われている実績がある
- 8 月経痛の緩和や貧血の予防などの副効用がある
- 9 この中にはない

66

問 33-2 低用量ピルを「使っている」または「ぜひ使いたい」という目的は何ですか。（○は1つ）

- 1 避妊が目的である
- 2 副効用を得ることが目的である
- 3 避妊と副効用の両方が目的である

67

【問 33 で「1 すでに使っている」と答えた方に、お聞きします。「2 ぜひ使いたい」と答えた人は問 34 へお進みください】

問 33-3 低用量ピルを「使っている」満足度はどの程度ですか。（○は1つ）

- 1 満足している
- 2 まあ満足している
- 3 やや不満である
- 4 不満である

68

【問 33 で「3」または「4」と答えた方に、お聞きします。】

問 33-4 低用量ピルを、「使えない」または「使いたくない」ことの最も大きな理由は何ですか。（○は1つ）

- 1 副作用が心配
- 2 情報が入手できない
- 3 相談する場所がない
- 4 毎日飲まなければならないのは面倒
- 5 女性だけに負担がかかる
- 6 すでに使っている避妊法で十分
- 7 性感染症やエイズを予防できない
- 8 費用がかかりすぎる
- 9 配偶者またはパートナーが反対している
- 10 親が反対している
- 11 もらう前に医師の検査・診察を受けるのが面倒
- 12 年齢が高いため使えない
- 13 病気があるため使えない
- 14 ここにはない

69 70

子宮頸がん予防ワクチン についてお聞きします。

問 34 あなたは「子宮頸がんを予防するワクチン」を知っていますか。(〇は1つ)

- ⑦①
- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問 35 あなたは「子宮頸がんを予防するワクチン」を接種したいですか(あなたが男性の場合、あなたの相手に接種して欲しいですか)。(〇は1つ)

- ⑦②
- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1 非常に接種したい(して欲しい) | 4 あまり接種したくない(して欲しくない) |
| 2 まあ接種したい(して欲しい) | 5 まったく接種したくない(して欲しくない) |
| 3 どちらでもない | |

人工妊娠中絶 についてお聞きします。

問 36 あなたは、人工妊娠中絶についてどう思いますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(〇は1つ)

- ⑦③
- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1 認める | 4 どちらともいえない |
| 2 一定の条件を満たす場合は、やむをえない | 5 この中にはない |
| 3 認めない | |

問 37 あなた(あるいはあなたの相手)は、これまでに、人工妊娠中絶の手術を受けたことがありますか。1から7までの番号に〇を1つつけてください。また、1か2に〇をつけた人は、その時のあなたの年齢を記入してください。(〇は1つ、1または2に〇の場合は年齢も記入)

- ⑦④
- | | | |
|---------------|---------|---------|
| 1 1回・・・()歳の時 | 6 一度もない | } → F1へ |
| 2 2回・・・()歳の時 | 7 わからない | |
| 3 3回 | | |
| 4 4回 | | |
| 5 5回(以上) | | |
- ⑦⑤ ⑦⑥
⑦⑦ ⑦⑧

【問37で「1」～「5」と答えた方にお聞きします。】

問 37-1 では、過去1年間に人工妊娠中絶の手術を受けたことはありますか。(〇は1つ)

- ⑦⑨
- | | | | | |
|------|------|------|--------|---------------|
| 1 1回 | 2 2回 | 3 3回 | 4 4回以上 | 5 過去1年間は一度もない |
|------|------|------|--------|---------------|

問 37-2 あなた(あるいは、あなたの相手)が、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決めた理由は、何ですか。(〇は1つ)

- ⑦⑩
- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 相手と結婚していないので、産めない | 6 育児していく自信がない |
| 2 経済的な余裕がない | 7 相手が特定できないから |
| 3 これ以上、子どもは欲しくない | 8 相手との将来を描けないから |
| 4 自分の身体が妊娠・出産に耐えられない | 9 相手のことが好きではないから |
| 5 自分の仕事・学業を中断したくない | 10 この中にはない |

問 37-3 あなた（あるいはあなたの相手）が、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決定したとき、あなたはどのような気持ちでしたか。（○は1つ）

1 自分の人生において必要な選択である	7 相手に対して申し訳ない気持ち
2 多くの女性が中絶しているから、かまわない	8 相手に対する怒り
3 これで解放されると思った	9 自分の親に対して申し訳ない気持ち
4 手術への不安	10 この中にはない
5 自分を責める気持ち	11 覚えていない
6 胎児に対して申し訳ない気持ち	

81

最後に、この調査を統計的に処理するために、あなたご自身のことについていくつかお聞きします。

F1 あなたの性別（○は1つ）

1 男性	2 女性
------	------

82

F2 あなたの年齢は、満でおいくつですか。

<input type="text"/>	歳
----------------------	---

83 84

F3 あなたには、きょうだい がいらっしゃるでしょうか。

1 いる (<input type="text"/> 人 *ご自身は含みません)	2 いない → F4へ
-------------------------------------------	-------------

85

86 87

【F3で「1 いる」と答えた方にお聞きします。】

F3-1 あなたには、異性のきょうだい がいらっしゃるでしょうか。（○は1つだけ）

1 いる	2 いない
------	-------

88

F4 あなたが中学生時代だったときの家族形態は、どれにあてはまりますか。（○は1つ）

1 一人暮らし	5 親以外の血縁（祖父母、叔父、伯母など）と同居
2 両親と同居	6 その他
3 一方の親と同居	7 わからない
4 親と親以外の血縁（祖父母、叔父、伯母など）と同居	

89

F5 現在、あなたは結婚していらっしゃいますか。（○は1つだけ）

1 未婚	4 離婚
2 初婚	5 死別
3 再婚	

90

【F5で「1 未婚」「4 離婚」「5 死別」と答えた方にお聞きします。】

F5-1 現在、あなたは結婚したいと思いますか。（○は1つ）

1 はい	2 いいえ	3 わからない
------	-------	---------

91

F6 あなたには、お子さんがいらっしゃるでしょうか。いる方は何人いるかご記入ください。

1 いる (<input type="text"/>) 人	2 いない → F7へ
---------------------------------	-------------

92

93 94

次ページ F6-1 へ

【F6で「1 いる」と答えた方にお聞きします。】

F6-1 一番上のお子さんの年齢はおいくつですか。

95 96

<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	歳
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

F7 (結婚の有無に関わらず) 現在、あなたはお子さんが欲しいですか。(○は1つ)

97

1 はい	2 いいえ	3 わからない
------	-------	---------

F8 あなたの最終学歴を以下の項目から選んでください。(○は1つ)

98

1 中学校卒	3 専門学校卒	5 大学卒業
2 高等学校卒	4 短期大学	6 大学院卒

F9 あなたの主な職業は、どれにあてはまりますか。(○は1つ)

99

1 勤め人 (常勤)	4 学生	} → F11へ
2 勤め人 (非常勤・パートタイム・アルバイトなど)	5 主婦 (主夫)	
3 自営業 (事業の経営者・家業の手伝い・内職など)	6 無職	

【F9で「1」～「3」と答えた方にお聞きします。】

F10 あなたは1週間に平均どれくらい働いていますか。(○は1つ)

100

1 15時間未満	5 35～43時間未満
2 15～25時間未満	6 43～49時間未満
3 25～30時間未満	7 49～60時間未満
4 30～35時間未満	8 60時間以上

【F11～F12の質問は20歳以上の方にお聞きします。】

F11 あなたは現在、タバコを習慣的に吸っていますか。(○は1つ)

(習慣的に吸っている人とは、「今までに合計100本以上または6ヶ月以上吸っている人」のうち「最近1ヶ月も吸っている人」です。)

101

1 もともと吸わない (吸ったことがない)	} → F12へ
2 吸ったことはある (吸っている) が習慣的ではない	
3 過去に習慣的に吸っていた (現在は吸っていない)	
4 習慣的に吸っている	

【F11で「4 習慣的に吸っている」と答えた方にお聞きします。】

F11-1 1日の平均本数と喫煙年数を教えてください。

102～104

105 106

1日の平均本数	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	本	喫煙年数	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	年
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---	------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

F12 あなたは1週間の内、平均してどの程度お酒を飲みますか? (換算表を使ってお答えください)

(○は1つ)

107

1 飲まない
2 1合未満
3 1～2合未満
4 2～3合未満
5 3合以上

日本酒一合 (180ml) 換算表

ビール	中瓶1本	約500ml
焼酎	35度	80ml
ウイスキー	ダブル1杯	60ml
ワイン	2杯	240ml

例：1週間に350mlのビールを3本(1050mlで2合)と焼酎2杯(160mlで2合)飲めば、合計4合になります。

ご協力いただき、本当にありがとうございました。